

- 問1 京都市中心部の道路網は、道路が格子状に整然と張り巡らされた「碁盤の目」状の構造を持っています。このような都市構造が形成された歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 自然発生的に形成された集落が、山に囲まれた盆地の地形に合わせて直線的な道路で結ばれたため。
 2. 明治時代の近代化政策において、路面電車の線路を敷設しやすい直線を用いた区画整理が行われたため。
 3. 平安京の造営にあたり、中国の長安をモデルに、土地を管理しやすくなるための「条坊制」が採用されたため。
 4. 江戸時代の城下町形成において、商人が活動しやすいよう平坦な土地に商業区を集中させたため。
- 問2 和歌山県の特産品である南高梅の収穫では、木の下に網（ネット）を敷く方法が広く取り入れられています。10キログラムあたりの収穫作業を比較した資料において、手でもぎとる方法では約10分かかるとに対し、網に落ちたものを集める方法では約6分で済むという結果が得られているとき、この収穫法に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 機械で枝を激しく揺らして一斉に果実を落とすため、短時間で作業を終えることができる
 2. 完熟すると自然に落下するという南高梅の特性を活かし、果実を傷つけずに効率よく回収している
 3. 手作業に比べて果実が傷つきやすくなるものの、出荷量を増やすために効率を優先している
 4. 網を敷くことで地面からの反射光を増やし、果実の色づきを早めて収穫時期を前倒ししている
- 問3 ある都道府県の産業について述べた次の記述のうち、三重県の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、この県は近畿地方に属し、古くから独自の地形を活かした産業が発展してきました。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 広大な大地を活かした大規模な酪農や畑作が中心であり、ジャガイモや乳製品の生産量が全国第1位である。
 2. 温暖な気候を利用したサトウキビやパイナップルの栽培が盛んであり、近年では電照菊などの商品作物の生産も増えている。
 3. 平坦な平野部での米作りと、潮位の差が大きい有明海でのノリの養殖が盛んであり、農業と水産業がバランスよく発展している。
 4. 農業生産額のうち米が約3割を占め、茶の生産量も全国上位である。水産業では、複雑に入り組んだ海岸地形を活かして真珠の養殖が盛んに行われている。
- 問4 日本の地方区分において、近畿地方に属する三重県と、中部地方に属する愛知県の地理的な関係について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 三重県と愛知県の間には静岡県が位置しており、両県は境界を接していない。
 2. 三重県と愛知県は、ともに近畿地方に属しており、古くから同じ行政区画であった。
 3. 三重県と愛知県の境界には飛騨山脈が位置し、陸路での移動は困難である。
 4. 三重県と愛知県は、伊勢湾を挟むとともに、陸上でも境界を接している。
- 問5 奈良市の気候を統計資料で確認した際、他の地域と比較して顕著に見られる特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 年間降水量が2,500mmを超え、夏は南東からの季節風によって非常に蒸し暑い日が続く。
 2. 一年を通じて気温の変化が小さく、降水量は梅雨や台風の時期にのみ集中している。
 3. 年間降水量が比較的少なく、冬の気温が氷点下近くまで下がるなど、夏と冬の気温差が激しい。
 4. 冬の降水量が夏の降水量を上回り、北西からの季節風によって長期間の降雪が見られる。
- 問6 大阪府の産業と人口の特徴について述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。なお、大阪府の統計では、製造品出荷額が約17兆円と極めて高い一方で、農業産出額は約300億円と非常に少なく、昼間人口比率は104.4という数値を示しています。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 製造品出荷額が低いと、サービス業よりも農業に従事する人口が圧倒的に多い
 2. 郊外への人口流出が激しいため、昼間人口比率が100を下回っている
 3. 農業産出額が全国的に高いと、食料自給率が非常に高い産業構造である
 4. 周辺地域から通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を上回っている
- 問7 日本の諸地域に関する統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり500人を大幅に超え、かつ昼夜間人口比率が100%を超過している大阪府の人口動態について、その要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 近畿地方の中心地として都市機能が集中しており、周辺の府県から多くの通勤・通学者を受け入れているため。
 2. 大規模な漁港と加工場が隣接しており、夜間の操業に合わせて他地域から労働者が流入するため。
 3. 都市近郊農業が盛んであり、収穫時期に合わせて周辺地域から多くの農業従事者が一時的に移住するため。
 4. 広大な住宅地が整備されたベッドタウンとしての性格が強く、夜間に帰宅する居住者が多いため。
- 問8 瀬戸内海沿岸の地域において、年間降水量が約1000ミリメートルから1200ミリメートル程度と、周辺の日本海側や太平洋側の地域に比べて少なくなっている主な理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 北側の中国山地と南側の四国山地が、夏と冬それぞれの湿った季節風を遮っているため。
 2. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した冬の季節風が、山地を越えずに海沿いを直進するため。
 3. 大規模な都市化が進んだことにより、地表面の水分が失われ上昇気流が起きにくいから。
 4. 赤道付近から北上してくる暖流の影響により、雲が発生しにくい環境にあるため。
- 問9 近畿地方の産業構造において、文化財の存在が観光に与える影響を説明した次の文のうち、その因果関係を正しく説明しているものはどれですか。 (2014年 兵庫県公立入試 類似)
1. 古都の景観や国宝などの文化財を保護・活用することで、国内外から観光目的の来訪者が集まり、宿泊利用においても観光客の比率を高めている。
 2. 歴史的資源の豊富さと観光目的の宿泊者割合には直接の関連はなく、交通網の整備状況のみが観光客の割合を決定している。
 3. 重要文化財が多い府県では製造業が衰退しているため、代わりにスキーや海水浴などのレジャー客を誘致することで観光目的の宿泊者を増やしている。
 4. 文化財の数が多い地域では、景観保護のために宿泊施設の建設が制限されるため、結果としてビジネス客の割合が上昇している。
- 問10 神戸市は、背後に山地が迫り海に面しているため平地が極めて少ないという地理的条件を持っています。この課題を解決するために行われた、「山、海へ行く」とも称される独自の開発手法について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 海水の浸食を防ぐために六甲山地から切り出した巨大な岩石で海岸線を囲い、山間部には地下ダムを建設して農業用水を確保した。
 2. 六甲山地の土砂を削り取って住宅地を造成し、その土砂をベルトコンベア等で運んで海を埋め立て、ポートアイランドなどの人工島を築いた。
 3. 六甲山地の森林を保護するために大規模な植林を行い、海岸部では自然の砂浜を維持しながら小規模な観光施設を建設した。
 4. 海外からの輸入土砂を利用して大規模な人工島を造成し、削り取られた山地の跡地はすべて自然公園として活用する手法をとった。
- 問11 近畿地方のある県について述べた次の文のうち、統計的な特色と一致する県名はどれですか。「古都としての歴史的背景から重要文化財件数が1,300件を超えて非常に多く、また、大阪などの大都市へ通勤する人々が住む郊外の住宅地が広がっているため、100世帯あたりの乗用車保有台数が111台を超えている。」 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 滋賀県
 2. 奈良県
 3. 和歌山県
 4. 京都府

答え合わせ・解説

問1	答え 3 平安京の造営にあたり、中国の長安をモデルに、土地を管理しやすくするための「条坊制」が採用されたため。	794年に桓武天皇が平安京を造営した際、律令国家の首都としてふさわしい秩序ある街づくりが行われました。中国の都である長安にならい、中央を南北に走る朱雀大路を境界として左京・右京に分け、全体を正方形や長方形に区画する「条坊制」が導入されました。この制度により、現在まで続く直交する道路網の基礎が築られました。
問2	答え 2 完熟すると自然に落下するという南高梅の特性を活かし、果実を傷つけずに効率よく回収している	南高梅には「完熟すると自然に木から落ちる」という性質があります。あらかじめ地面に網を張っておくことで、落下時の衝撃から果実を守りつつ、熟した実だけを効率的に集めることが可能になります。これにより、一つひとつ手でもぎとるよりも作業時間が短縮され、農業の効率化につながっています。
問3	答え 4 農業生産額のうち米が約3割を占め、茶の生産量も全国上位である。水産業では、複雑に入り組んだ海岸地形を活かして真珠の養殖が盛んに行われている。	三重県は、静岡県や鹿児島県と並ぶ日本有数の茶の産地（伊勢茶）として知られています。また、志摩半島に代表される沈水海岸であるリアス海岸は、波が静かな入り江が多く、真珠の養殖に非常に適した環境を提供しています。他の選択肢は、それぞれ北海道、沖縄県、佐賀県の特徴を説明したものです。
問4	答え 4 三重県と愛知県は、伊勢湾を挟むとともに、陸上でも境界を接している。	三重県（近畿地方）と愛知県（中部地方）は、伊勢湾の湾奥部で境界を接しています。この隣接関係により、両県は岐阜県とともに中京工業地帯を形成し、強い経済的ネットワークを持っています。長野県や静岡県などは、三重県とは直接境界を接していません。
問5	答え 3 年間降水量が比較的少なく、冬の気温が氷点下近くまで下がるなど、夏と冬の気温差が激しい。	奈良市の雨温図などの統計資料では、海の影響を受けにくい内陸部特有のグラフが示されます。具体的には、太平洋側気候の特色を持ちつつも、年間降水量は少なめで、冬の最低気温が低くなりやすいという特徴があります。特に冬の冷え込みと夏の猛暑の差が激しい「盆地特有の気候」を理解しておくことが重要です。
問6	答え 4 周辺地域から通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を上回っている	大阪府は近畿地方の経済や教育の中心地であり、兵庫県や奈良県などの周辺地域から多くの人々が仕事や通学のために流入します。そのため、昼間の人口を夜間の居住人口（常住人口）で割った「昼間人口比率」が100を超え、大都市圏の中心としての特徴が顕著に現れています。また、製造業が盛んで出荷額が高い一方で、都市化が進んでいるため農業産出額は極めて低いという都市型の産業構造を持っています。
問7	答え 1 近畿地方の中心地として都市機能が集中しており、周辺の府県から多くの通勤・通学者を受け入れているため。	大阪府は近畿地方の経済や教育の中心地であり、多くの企業や学校が集まっています。そのため、兵庫県、奈良県、和歌山県といった周辺の地域から、日中に仕事や通学のために移動してくる人が非常に多いのが特徴です。この結果、夜間にその場所に住んでいる人数（夜間人口）よりも、昼間に滞在している人数（昼間人口）の方が多くなり、昼夜間人口比率が100%を超えるという現象が起こります。人口密度も全国的に見て極めて高い水準にあります。
問8	答え 1 北側の中国山地と南側の四国山地が、夏と冬それぞれの湿った季節風を遮っているため。	瀬戸内の気候は、北にある中国山地と南にある四国山地という2つの大きな山地に挟まれていることが大きな特徴です。夏は太平洋側から吹く湿った季節風が四国山地に遮られ、冬は日本海側から吹く湿った季節風が中国山地に遮られるため、瀬戸内海周辺には水分を失った乾燥した空気が流れ込みます。その結果、年間を通じて降水量が少なく、温暖な気候となります。
問9	答え 1 古都の景観や国宝などの文化財を保護・活用することで、国内外から観光目的の来訪者が集まり、宿泊利用においても観光客の比率を高めている。	近畿地方の観光業は、豊富に存在する文化財が大きな付加価値を生んでいます。国宝や重要文化財が特定の地域に密集していることで、それ自体が目的となる観光ルートが形成されます。統計データにおいても、文化財が豊富な地域ほど、仕事（ビジネス）ではなく余暇や観光を目的として宿泊する人々の割合が高いことが示されており、歴史的資源の保存と観光産業の活性化が密接に結びついていることがわかります。これは、単に施設が多いということではなく、資源の質（歴史的価値）が滞在目的を規定している例といえます。
問10	答え 2 六甲山地の土砂を削り取って住宅地を造成し、その土砂をベルトコンベヤ等で運んで海を埋め立て、ポートアイランドなどの人工島を築いた。	神戸市は北側に六甲山地、南側に瀬戸内海が迫る東西に細長い地形で、都市活動のための平地が不足していました。そこで、六甲山地の山を削って大規模な住宅団地（須磨ニュータウンなど）を建設すると同時に、発生した土砂を海に運び、ポートアイランドや六甲アイランドといった人工島を造成しました。この山地の開発（住宅地確保）と海面の埋め立て（港湾・都市機能の拡張）を一体的に進める効率的な手法は「山、海へ行く」と呼ばれ、日本の都市開発の代表例として知られています。
問11	答え 2 奈良県	奈良県は、かつての都（平城京）が置かれていた歴史から、文化財が非常に豊富であることが特徴です。生活面では、大阪市のベッドタウンとして大規模な住宅地開発が進んできましたが、公共交通機関だけでなく日常生活の足として自動車への依存度が高いため、統計上でも100世帯あたりの乗用車保有台数が1世帯に1台以上の割合（111台超）となっています。